

議事概要

(1) 青谷町版総合戦略進捗状況 (資料1) P1～P9

《事務局説明》

【委員】青谷中央広場(仮称)とあるが、いつまで仮称とするのか。名称はどうするのか、公募等の予定があるのか。

【事務局】早急に考えます。

【委員】以前の目標と違っている箇所があるが、どうしてか。

【事務局】今後の計画に活かすために目標を年度としていた箇所について修正しました。

【委員】夏泊の定置網による鮮魚販売について、前回よりも集客が減っているのはなぜか。

【事務局】集客減の理由等は特に把握していませんが、事業としては安定していると聞いています。

【委員】定置網の鮮魚販売は、平日は特に固定客が多く、買いたい魚が買えなかったこともあり、買いにくいと聞いたことがある。

【委員】泊漁港で定置網の鮮魚販売が始まったことが影響しているのかもしれない。

【委員】新規のお客さんに来てもらう取り組みも必要だと思う。

【委員】LED照明整備の中止はどうしてか。

【事務局】設置後の維持管理体制等確立と道路街灯や防犯灯ではないため予算化が難しいこと、地元の団体により和紙灯籠の設置行事も行われており必要性が下がったことなどのため中止とさせていただいています。

【委員】池田市のイベントに参加しているのは良いことだと思うが、交流人口を増やすという観点から、池田市からも青谷のイベントに参加していただくなどの要請をしてはどうか。

【事務局】今年度10月のあおいちに、池田市から出店等をしてもらう予定でしたが、台風等の関係で中止になりました。今後も出店について考えていきたいと思っています。また、池田市のふるさと納税返礼品の青谷町物品利用の継続は難しいと思われませんが、ダイキンやダイハツ本社を含め池田市との交流を上手に続けていきたいと思っています。

【委員】池田市が新たに31年度卓球大会を始めるにあたり、青谷中学校出場について招待を受けるなど、交流を続けている。

【委員】避難行動要支援者の登録数が減ったのはどうしてか。

【事務局】死亡・転居・施設入所のためが主な理由です。転居されたら、新規登録となりますので、登録されない方もいらっしゃいます。

【委員】地域資源を活かしたまちの魅力づくり部分で、子守神社を活かすことはできないか。

【事務局】観光コンベンション協会が企画した鳥取因幡Gバスで、H31年度、かちべ伝承館でおぼろ豆腐づくり体験や子守神社、不動滝を含めた勝部を中心にツアーを実施する予定です。

【委員】イラストレーションによるまちづくりフォーラムにもあったとおり、集

う場所が必要だと思う。現在使用していない西商工会青谷会館をギャラリーとして利用してはどうか。

【事務局】以前卓球の町青谷の復活に向けての取り組みの中で、西商工会青谷会館に卓球台を置いてはどうかという意見が出たときに確認しましたが、管理がきちんとできることが利用の条件となるようです。

【委員】いろいろなところが整備されたが維持管理はどうなるのか。

【事務局】青谷中央広場（仮称）は地域の方で協力をお願いします。駅前バス停トイレ清掃等について行政の方で管理委託等の対応をしたいと思っています。

【委員】題目塔や空浜公園がきれいになっていた。きれいにしてあるとまた行ってみたいと思う。

【委員】まちなかを散策してみると、空き家が多い。危険の無いように整備する必要がある。

【事務局】空き家の管理については、行政としては所有者に対して危険が無いように管理をしていただくようお願いをしています。市道や公共施設等に被害がある場合等については、代執行という形で、費用弁償を求める方法を取る場合もあります。

【委員】少子高齢化についてよく聞くが、子どもや高齢者にやさしいまちづくりが必要だと思う。キューピットはとても良い施設にもかかわらず、利用が少ないようなので、もっと活用できたらと思う。青谷町内の人しか利用できないのか。また高齢者との交流などを取りいれてはどうか

【事務局】キューピットの利用については、青谷町外の人でも利用できます。高齢者との交流については第2園舎の利活用も含めて検討していきます。

【委員】青谷町内には探せば魅力はたくさんある。個人では訪問しにくい場所もあるので、魅力発信できそうな場所を委員で見て回ってはどうか。

（2）青谷地域振興会議委員提案進捗状況 （資料2） P10～P16

《事務局説明》

質疑等特になし

（3）委員提案 「委員提案制度の改善について」 （資料3） P17

《提案委員説明》

①委員提案について、現在の方法だと、情報の共有化がなく、議論ができないため、単に意見の発表で終わっていることが問題である。問題の共有化を図り、議論を深めることが大切。そのために、初回は、委員の想い、説明のみを行う。その後、課題についてそれぞれが情報収集を行い、次の地域振興会議で自由闊達に意見交換、具体策等を検討する。

【委員】委員提案を行ったが、専門的な部分をどう説明していいのかわからなかった。提案することに重責を感じた。

【委員】委員提案は良い制度なので市の施策に反映できたらと思う。また委員一

人ひとりが考える機会となる。

【委員】自分が関わっている部分の提案になった。もっといろいろな意見を聞かせていただきたかった。

【委員】委員提案をしたことで、関係者の方と何度も話し合いを行うなど負担をかけたと思う。1回の会議では限界があると思う。議論を重ねていくことで、改善策も出てくると思う。

【事務局】執行部としても説明をさせていただいたつもりですが、充分でなかった点については真摯に受けとめたいと思います。また、委員さんと事務局とのやり取りとなる場合が多かったので、委員さん同士の意見交換の場になれたらいいと思います。

【委員】これからは委員と行政が一体となってやっていかなければいけない。一歩踏み込んで委員との議論に参画してもらいたい。

【委員】もう少し踏み込んだ意見交換が必要だったとも思う。

【委員】意見交換を求めない自分の思いを伝えるだけの提案や周りの人の意見を伝えるなどいろいろな提案方法があっただけだと思う。

【委員】意見をもらいながら、実践しながら改善改良を行いより良い委員提案としたい。

②2033年の国体が鳥取県で開催されることが内々定した。青谷町農林漁業者トレーニングセンターと青谷町体育館があるが、どちらも施設が古く雨漏り等がひどい。現在の利用状況を見ると1つの施設で良いと思うが、2033年国体会場に向けて青谷町総合体育館の建設促進の運動を展開してはどうか。

【委員】個人では、情報収集に限りがある。情報収集について行政の協力が必要

【委員】国体競技会場となるためには、体育施設だけでなく宿泊できる施設も必要。

【事務局】今回は、当時の建設状況とか鳥取市公共施設再配備計画等について資料を準備します。

【委員】今回は意見を聞くのみとします。皆さんで可能な範囲での情報収集をお願いします。

その他

【委員】各種団体の横の連携ができたらいと思う。

【委員】妻木晩田遺跡と大中遺跡を視察したが、委員の意見が青谷上寺地遺跡史跡整備に反映されていないと感じる。

【事務局】ハード面の整備事業主体は、国や県となりますので直接反映されない部分もありますが、地域振興会議で出た意見は、埋蔵文化財センター青谷町調査室に伝えています。また、地域振興会議委員として青谷上寺地遺跡史跡活用協議会の会合へも参加していただいています。また、視察の目的は、ソフト面の部分が多く、地域との関わり方について視察を行ってきました。

【委員】青谷上寺地ボランティア講座なども開催され、取り組みが進んだと感じている。

